



5月15日

長期避難所生活での課題を解決 木製「防災ベッド」お披露目

釧路管内防災担当者に向けて、札幌ベニヤ株式会社が作製した木製の「防災ベッド」のお披露目が、釧路町防災交流センターで行われました。長期化した避難生活では、睡眠のストレスやプライバシーの確保、貴重品の管理などが課題となっていることから、白糠町ではこれらが解決できないかと同社に相談。町と同社は約1年かけて木製の防災ベッドを共同開発しました。

この日、釧路町で開かれた防災担当者会議で木製「防災ベッド」が披露されました。防災担当者は、札幌ベニヤ株式会社の説明を受けながら防災ベッドの組み立てと撤収を行いました。ベッドの組み立て時間は約5分。防災担当者からは「組み立てが簡単で寝心地も良い」「スペースを取らずに長期間保管できるのも良い」と好評を得ていました。



①右が段ボールベッドで左が木製ベッドを収納した状態。木製ベッドは板が薄いため保管スペースをとらず、また湿気の影響を受けにくい、長期間の保管が可能となっています。②木製「防災ベッド」。天板に敷くクッションシートや枕周りの目隠しシートも付属されています。また、ベッドの高さが低く、小さな子どもや高齢者が、万が一ベッドから落ちて怪我をしにくいよう配慮しています。③札幌ベニヤ株式会社の山本純也社長（写真右）は「ベッドのフレームに強度があるため、ベッドの下に収納スペースを確保しました。ここに貴重品や人の目に触れられないものをしまうことができます」と説明していました。



小型ポンプ操法訓練。第2分団と第3分団が披露しました

5月19日

防災意識と団結力を高める 白糠消防団春季消防演習

白糠消防団（桐原千里団長）と釧路市西消防署白糠支署の春季消防演習が白糠消防庁舎で行われ、団員が日頃の訓練の成果を披露しました。

演習には団員51人が参加し、分列行進や服装点検、小型ポンプ操法訓練の展示を行いました。桐原千里団長は、訓練の結果を良好と講評し「町民の生命と財産を守るため、一層の研鑽に励んでいく」と述べました。

5月19日

ゆあ 最優秀賞に對木佑郁さん（茶路中3年） 第46回「少年の主張発表」

町教育委員会主催の第46回「少年の主張発表」が社会福祉センターで開かれ、中学生5人が「防災の大切さ」「言葉の重み」などと題して発表しました。

最優秀賞は對木佑郁さんが受賞。對木さんは「町の未来を創るには」と題して「誰とでもあいさつし合えたら、明るく笑顔の絶えない町になると思います。私は未来の白糠町を創る人になりたい」と述べました。



「白糠をみんなと一緒に元気にしたい」と話す對木さん

5月13日

町長選8期飾る 棚野氏に当選証書付与式

任期満了に伴う町長選で8期を飾った現職の棚野孝夫氏（74歳）に町選挙管理委員会から当選証書が付与されました。

町長選は7日に告示され、棚野氏以外に立候補の届け出がなく、3期連続の無投票となりました。

付与式は町役場で行われ、同選管の松本直昌委員長が棚野氏に当選証書を手渡し、「今後も町民のために尽力願います」と激励しました。

付与式後、職員へのあいさつで棚野氏は「8期目となりますが、もう一度初心に帰って一層頑張らなければならない」という思いを新たにしました。一日でしたが、この選挙戦で述べたことは約束なので、4年間の中でしっかりと反映していかなければならない」と決意を述べました。

町長の任期は令和6年6月12日から2028（令和10）年6月11日までの4年間です。



①町選挙管理委員会の松本委員長から当選証書を受け取る棚野氏 ②付与式後、当選証書を手にとり町選挙管理委員会委員さんと撮影 ③選挙後の初登庁で出迎えを受ける棚野氏

5月15日

有限会社高原重機 はらい おが粉工場清祓式

有限会社高原重機（高原隆一会長）のおが粉工場（西庶路西3南1）で清祓式が執り行われました。

神事には関係者や来賓など約30人が参加。祝詞奏上の後、清祓が行われ続いて参列者が玉串を供えました。

高原会長は「新たな工場が完成し、こうしてご覧いただけるのも皆さんのおかげ。林産業の事業者として、より一層努力していきます」とあいさつしました。



玉串を供え、二礼二拍手一礼を行う高原社長



感謝状を手にとり多田さん（左）と川島教育長

5月15日

教育に役立ててほしい 多田トモ子さんが寄付

子どもたちの教育に役立ててほしいと、釧路町在住の多田トモ子さんから、図書カード50万円分の寄付をいただきました。

この日は、多田さんの自宅で受納式が行われ、川島眞澄教育長が多田さんから寄付を受け取りました。

多田さんは「お世話になった白糠町へ恩返しができうれしく思います」と笑顔で話していました。